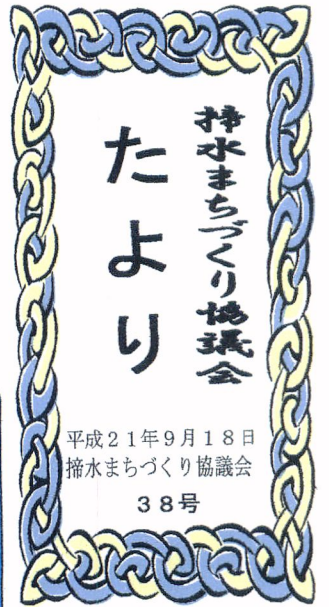


掃水まちづくり協議会 環境問題プロジェクトチームより

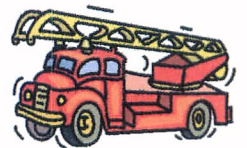
あいさつを子どもにも！

※ スプレー等の空き缶の処理方法が変わりました。
穴を開けずに別の袋にまとめて入れて出しましょう。

環境問題プロジェクトチームより、地域の皆様へもう一度、「できるきるところから運動」を原点に戻って考えて、実行いただくことをお願いします。



平成21年9月18日
掃水まちづくり協議会
38号



掃水地区防炎訓練の実施

- 日時 十月四日(日)
八時四十分より
正午まで
- 場所 掃水小グラウンド
(雨天決行)
- 当日の訓練内容

今年、当日朝、八時にサイレンを鳴らします。
(震度五の地震が発生したことを想定ください。)

※ 豊原町のみ、サイレンの地震発生の場合により、一斉に町内会長さんと動員者が各世帯を巡回し、町内の地震被害を確認する状況把握訓練とその情報を自治会長に報告する報告訓練を実施します。

豊原町には、そのための説明書を各世帯に配布しました。

- ・ 豊原町による地震被害状況把握・報告訓練
- ・ バケツリレーによる消火訓練
- ・ 消火栓接続、ホース延長訓練

・ 土のう作りと積み上げ訓練
・ 普通救命講習(AED含む)
(市民センターにて)

○ 準備物
・ 参加されます自治会長・町内会長さんはヘルメット・腕章・運動のできる服装をお願いします。動員の方は、それに準じた運動のできるようにして参加をお願いします。

また、雨天の場合には、雨合羽の用意をお願いします。



去年の防災訓練の様子

この行事には、各地区に動員をお願いしています。大変お忙しいとは思いますがよろしくお願ひします。また、動員の方はもちろん当日自由参加していただくのも大いに歓迎します。小学校高学年や中高生の参加をできるだけお願いします

平成二十一年度「第一回評議員会」の報告

8月27日 午後7時より

掃水まちづくり協議会を設立して4年目になります。今一度、原点に戻って、「協議会は何のために作ったのか」、「協議会と自治会との関係はどうなのか」、「31名の評議員の果たす役割はどうなのか」などについてより理解を深め、協議会活動をより活発なものにするために評議員会を開催しました。この会では、市のまちづくり推進課の松尾主幹と松田主査に講話をしていただき、話し合いにも参加をしていただきました。主な話し合いは次の通りです。

協議会とは市行政の下請けではないのか？

協議会は、決して行政から作ったものではなく、住民自らが自分たちの意志で作ったものであり、自分たちの意志を自分たちの意志で実行に移していくものである。

協議会はどこまで仕事をこなすのか？

協議会発足当時、東部中学校区の協議会をまとめて、大きな振興拠点を設置するとの話しもあり、そのときになれば、生活

十一月の行事予定

合同自主防災訓練 10月4日(日)8時45分～12時 場所 掃水小学校グラウンド
さつまいも収穫祭 10月17日(土)・雨天18日(日) 場所 清水町農協倉庫 13時
長寿を祝う会 10月25日(日)受付11時30分 場所 松阪農協本店3階
文化祭(作品展示会) 11月7日(土)～8日(日) 場所 掃水市民センター
掃水川クリーン作戦 11月15日(日)雨天22日(日) 場所 協和コンクリート(株)様 前の広場

に関する基幹事業（ハード面）に関する仕事も協議会が担うような話もあったが、今の協議会では地域に根ざした生活に関する行事（ソフト面）を充実させるだけで大変である。またそれが地域をまとめる大切なことだと考えている。

「まちづくり協議会と自治会との関係は？」

自治会はそれぞれの地域の自主的な団体です。自分たちの意志でつくり、活動をしているのです。それをまとめているのが櫛田地区自治連合会です。櫛田地区自治連合会は、それぞれの自治会の活動を調整し、掃水校区全体の活動を行います。例えば、以前の「櫛田地区の盆踊り」がそうでありました。掃水まちづくりは、櫛田地区自治連合会をより活性化させるように発足をし、「櫛田地区の盆踊り」をより地域の要望を聞き入れ、みんなでもより楽しめる「掃水夏まつり」を作り上げました。これからも櫛田地区自治連合会の行事は、少しずつ掃水まちづくりに移行させ、近い将来、九つの自治会をまとめていくのは櫛田地区自治連合会から掃水まちづくり協議会に変わっていくものと考えられます。つまり、これは少しでも住民の意思を地域行事



シリーズ自治会だより (四) みどり苑 自治会設立三十周年を 迎えて 川北 敬子

に反映させ、より楽しいより地域に合った行事を求める住民意識の現われなのです。クリーン作戦や自主防犯パトロール隊などはそんな中で生まれました。

みどり苑が、櫛田地区の一自治会として誕生して三十年の年月を重ねる事が出来た記念として、去る8月23日に、住民総出でお祝いをする事が出来ました。みどり苑の住民は、市内の人であれば、県内、県外からこの地を安住の地と求め、櫛田地区の皆様から温かいご指導を頂き

がら、一地区として肩を寄せ合い、色々な年代の人達と共に生活が出来る事の幸せにまざるものはありません。

当日は、小、中学校のPTA奉仕作業日と重なった為、シルバー年代と、子供達の父親達の腕の見せどころで、係になった人も参加をする人も、生き生きとして楽しんでいる様子でした。陶板モニユメントの除幕式には、みどり苑の小学生全員が参加し、紅白のひもを引っぱった

り、組対抗のペタンクや、小さい子供でも出来るゲームも楽しみ、お菓子のつかみ取りでは、これ以上の笑顔は出来ない顔・顔・顔です。

昼食には、流しそうめんです。9mの竹筒を半分に分けて、五列に並んだ場所にここぞと陣取り目を大きくさせ、流れてきたそうめんを見つけると、具沢山の薬味の入ったつゆにつけて口にほうばる作業の忙しさ。そうめんも、総勢百五十人もの人達で食べると、にぎやかで、大ごちそうです。時々サプライズで目先を変える為に、プチトマトや黒砂糖のカンテン、コーヒードリのカンテンが流れてくると、子供達はフォークで、大人の人達は割りばしで「きやー、きやー」と大はしゃぎです。お母さん達の高い声は最高です。

同じ会場で、みどり苑三十年間の写真展も開催され、この地にもういらつしやらない先人達も、きつとこの光景に目を細めていてくれた事でしょう。

この記念行事をするにあたっては、沢山の人達に、大変なお世話をおかけし、暑い日の中、お疲れになられた事とと思いますが、子供達にとっても、大人の人達にとっても、生涯忘れる事の出来ない大収穫のあった夏休みの日だった事でしょう。

「みどり苑 三十周年 乾杯！」

親子球技大会 (ソフトバレー) 終わる 公民館活動部

9月13日(日) 掃水小学校体育館において、各地区から十一チーム九十名の皆さんが参加して、親子球技大会が開催されました。

予選リーグを行い、熱戦の末、伊賀町、豊原A、豊原Cが決勝リーグに進みました。結果は次の通りです。

- 一位 伊賀町
二位 豊原A
三位 豊原C



準優勝の豊原Aチーム



優勝した伊賀町チーム

当日早朝から準備運営していただいた体育委員の皆さん、ありがとうございました。選手の方々、お疲れさまでした。